

### 原発、学力テスト問題など

## 党松江市議団が省庁に要求

日本共産党松江市議団の橋本明、吉儀敬子、田中肇の3氏は15日、国会内で文部科学省と原子力規制庁に対して申し入れました。仁比聡



平参院議員、大平喜信前衆院議員が同席しました。(写真)

文科省には、普通教室へのエアコン設置に向けた補助を要請。担当者は来年度当初予算を確保できるように財務当局に要求していききたいと述べました。市議団は、学力テストの採点が業者任せで、受験者が採点ミスを確認できるシステムになっていない問題点を指摘しました。原子力規制庁に対しては、島根原発2号機の再稼働の前提となる原子力規制委員会の適合

### 沖縄の基地闘争—過去、現在、未来—

## 沖縄ツアー—日記②

「沖縄と連帯する島根の会」の中林佳子さんの呼びかけで9月12〜15日・3泊4日の沖縄ツアーが企画されました。松江から11人、出雲から3人の計14名が参加しました。(文責・YU)

### 9月13日(水) キャンプシユワフ

ゲート前の抗議行動  
台風による雨の中、キャンプシユワフ・ゲート前での抗議行動に参加しました。この日は議員集中行動日で天候も悪く、工事資材の搬入はなかったのでいかとの話でした。正直、少し安心しましたが、現地に到着した途端、各地の支援団

体から「県警車両が向かった」とか「ダンプカーが入ってきました。主催者からゲート前に座り込んで待機の指示。大雨の中を約100名が2列でスクラムを組んで座り込みました。間もなく、県警車両が到着し、立派な体格の機動隊員が続々と降りてきました。同時に列をなしたダ

## 立憲主義、民主主義、9条守れ

### 県憲法会議 市民憲法フォーラム開く

性確認審査に関わって、中国電力が同原発の2キロ南を東西に走る宍道断層の長さを39キロに延長したことで、宍道断層のさらに東側にある鳥取沖西部・東部断層との連動可能性をどう認識しているのかなどについて質しました。松江市で「市民憲法フォーラム」を開きました。島根県立大学の岡本寛講師が立憲主義、民主主義、憲法9条について講演しました。岡本氏は、近代国家は原則として立憲主義を採用しているとし、その定義は「憲法に基づき統治権力を構成しつつ、その権力を制限すること」と述べ、これに関連して

ンブが道路を進んでいきます。次々とスクラムが崩れていきました。ゲート前が大きく開かれると、砂利を積んだダンプが投入されたとのことでした。10時頃、主催者の「諦めない！非暴力で頑張らしよう」との訴えで解散。いくつもの団体が交代で抗議活動を行っているようでした。島ぐるみの連携が活動継続できる要因ではないかと思えます。海上闘争船「ウマンチユー」船長・オール沖繩の仲本会長からお礼を述べたいとの申し出があり、名護共同センター



## くらしと命を守る県政へ ②国民健康保険(滞納者への無慈悲な制裁)

日本共産党県議団(尾村利成、大國陽介県議)の議会論戦を紹介しながら、県政をめぐる諸課題(医療・介護・福祉、原発、雇用・経済、教育、農業など)について連載していきます。前号に続き、今回も国民健康保険について取り上げます。

### ●強権的な取り立てをやめ、住民の生活と権利を守る行政に

国保料(税)の高騰を招いた大きな要因は、「加入世帯の貧困化」と「国の予算削減」です。現行の国保制度がスタートした1960年代、国保に加入する世帯主の4割は「農林水産業」、3割は「自営業」でしたが、現在は、年金生活者など「無職」が4割、非正規労働者などの「被用者」が3割を占めるようになっていきました。国保加入世帯の平均所得は、1990年代前半の「270万円」をピークに下がり続け、いまや「139万円」にまで落ち込んでいます(2015年度)。また、国保の総会計に占める国庫支出金の割合は、1980年代前半の50%から20.3%(2015年度)にまで下がっています。

その結果、1人当たり保険料は、1980年代が3~4万円、1990年度は6~7万円、2000年代以後は8~9万円(後期高齢者支援分・介護分保険料除く)へと上がり続けてきました。こうした中、「収納率向上」のかけ声のもと、生活苦や経営難で国保料(税)を滞納せざるを得なくなった人に対する、無慈悲で強権的な差し押さえが問題となっています(右表参照)。県議団は年金支給日の差し押さえ実態を追及。県内では2016年度、年金口座差し押さえが57件。そのうち、52件が年金支給日に行われていました。差し押さえ禁止財産である年金を狙い撃ちにした違法な差し押さえは許せません。

### ●高すぎる国保料(税)を引き下げ、払える保険料に

県内の国保会計の基金保有額(右表参照)は松江市の9.1億円、大田市の3.8億円をはじめ、全国でも異常な積み立て状況。広島市や北九州市など多くの自治体は基金ゼロです。過大な基金を取り崩して、誰もが払える保険料(税)にする必要があります。

### ●日本共産党の政策

- ◆国の責任で国保料(税)を1人1万円引き下げ、計画的に国庫負担割合を増やし、保険料の負担水準を他の医療保険並みに引き下げていきます。
- ◆市町村による一般会計繰入や基金取り崩し、県による独自財源投入などで国保料の高騰を抑えます。

	延べ差押世帯数(H28年度)	差押金額(H28年度)	基金保有額(H29.3.31現在)
松江市	199	61,412,809	916,533,951
浜田市	115	28,919,185	226,963,178
出雲市	59	4,905,442	295,489,252
益田市	48	18,373,518	971,218
大田市	6	890,700	384,674,991
安来市	117	12,364,810	182,553,410
江津市	24	5,268,682	190,807,483
雲南市	76	10,323,919	228,429,537
奥出雲町	46	15,174,654	255,355,258
飯南町	1	25,360	175,408,212
川本町	0	0	48,522,000
美郷町	0	0	2,294,442
邑南町	6	621,604	9,021,251
津和野町	8	3,014,987	34,981,843
吉賀町	4	2,690,800	48,094,582
海士町	0	0	41,275,420
西ノ島町	0	0	39,115,323
知夫村	0	0	94,574,298
隠岐の島町	0	0	130,861,000
県計	709	163,986,470	3,305,926,649